

人口	男	3,349人(0)
	女	3,585人(-2)
	計	6,934人(-2)
世帯数		1,558(0)
( )は10月1日との比較		

発行 昭和51年11月15日  
 新潟県三島郡三島町役場  
 電話(025842) 2221  
 印刷 長岡市北越印刷物

**キセル (Kiseler)**  
 タバコが日本に入ってきた当時は、粉タバコで医薬品として使用されていた。刻みタバコとしてキセルを用い、しごき品として広まったのは今から四百三十年前ごろからである。  
 キセルは火皿のついた雁首(がんくび)と吸い口と、これをつなぐ籬字(ラウ、ヲオ)からできていて、豊臣秀吉が火たたきと吸い口の部分を八角形に作って彫刻を施したキセルがあり、これを大關



(18)



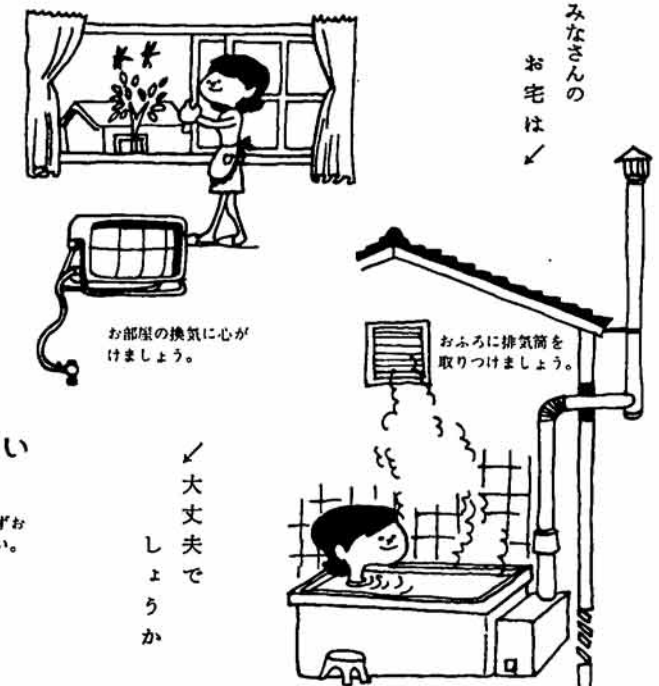
キセル

張り、又は作者の名をとって、水口キセルなどと呼び、明治時代まで一般に愛用された。  
 徳川時代には、花見時に持ち歩く花見キセル、火皿の大きい五服つぎキセル、遊ぎょうの徒が作らせた鉄製のけんかキセルなどが作られたが、元禄に入ると、さげタバコ入れが用いられるようになってから小型になりさらに天保のころからは、体裁よりもうまく吸えるキセルに関心が向けられ、細身のものが愛用されるようになった。

ガス安全使用強調月間 11月1日~11月30日  
**ガスをお使いのみなさまへ**

ガスおれを見つけたら、まず下記にお電話ください  
 ★役場 企業課 電話 2154番  
 ★ガス供給所 (送配のみ) 電話 2102番

ガスを多く使う時期になりました。11月1日から30日までは、ガスの安全使用強調月間です。ガスを使用するときは、次のことに注意し、正しく、安全に使ってください。



11、1月衛生行事

月日	種目	対象者	ところ	とき
11.16	インフルエンザ予防注射	希望者(3才以上)	日小 吉校	14.00~15.00
11.22	乳児検診	生後3ヶ月~1才未満の乳児	総合福祉センター	13.00~15.00
11.24	インフルエンザ予防注射	希望者(3才以上)	日小 吉校	14.00~15.00
12.2	〃	〃	総合福祉センター	〃
12.7	〃	〃	天保 津所	〃
12.8	〃	〃	総合福祉センター	〃
12.13	妊婦検診	妊婦	〃	13.00~15.00
12.15	インフルエンザ予防注射	希望者(3才以上)	天保 津所	14.00~15.00

※ インフルエンザ予防注射は2回受けなければなりません。

鳥越(A)が連続制は  
**町中をわかせた十六チームの力走**



**優勝タイム!!**

1時間47分47秒(鳥越Aチーム、アンカーは樋口茂男さん)

走ることは、最も美しい闘いであり、その闘いは真の感動を呼ぶとだれかが言ったかどうかは知らないが、とにかく十一月三日の「町民駅伝大会」は町にとって、なくてはならない催しの一つとなっていることは確かである。  
 わがチーム、わが子の応援に、全コースを回っている。〇〇ママ。「こんなこといつもの鍛錬より軽い」と区間賞をとった吉崎の小林繁樹さんと藤田五郎(おん)さん。一人で二区間を立派な成績で走り抜いた逆谷の田中政義さん。昨年に続いて区間第四位の成績でがんばった「紅一点」蓮花寺の小川佐和子さん。みんなさわやかな秋の日の大会にふさわしいできごとでした。



**投票所**

**近付いた総選挙**  
 このたびの総選挙、すなわち衆議院議員選挙の投票日は、十二月五日とすることが今日、十五日公示されました。  
 ところで選挙の投票制度について評論家の戸川裕佐武さんがある雑誌でおもしろい発想を述べておられます。  
 それは、コンピューターシステムによる電話での投票制度です。有権者ひとり一人がカードを所持し、これを電話機に挿入するだけで候補者別に得票数が自動的に集計され、投票しめきり数分後には結果が判明するという夢のような制度です。  
 こんな制度ができれば、国会自治体の選挙に限らず、問題、懸案ごとに住民の賛否を問うことのできる「直接民主主義」が実現できるというのです。  
 もちろんこんな制度実現の前提には、自からの意志で投票できる政治的良識を持つ有権者が必要なことは当然です。

**定額貯金の替手続き**  
 昭和49年9月23日以前にお預けになった定額貯金は、利息が有利になる手続き「替」の取り扱いをしています。この取り扱いは来年の1月13日までです。お済みでない方はお早めどうぞ。

**電話を移転するとき**  
 移転工事は予約制をとっています。特に家の新、改築等の場合は、早めに電報電話局(番32-0600)に連絡下さい。無断で移転すると故障のもとになります。

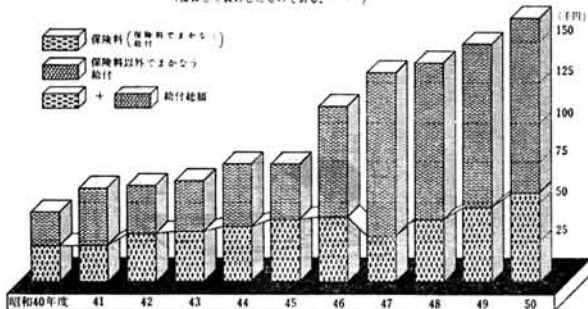
# 町の統計

財政難に悩む国民健康保険は、再三にわたる医療費の引き上げ、一件当りの給付額の増加によって給付総額は加速度的に伸び、昭和四十年の一世帯当りの給付額が約二万円だったのに対し、昭和五十年では八倍を超える十六万五千円にもなっています。これに伴って保険料負担も引き上げられ、昭和四十年の四倍強となっています。

保険料負担の伸びを大きく上回る給付額の増加を示すグラフが下のグラフです。消費者物価指数の推移を貨幣水準と仮定して表したため、若干の矛盾はあるとしても保険料と、それに対する給付額が物価水準の増加なら、各年度の「棒」の高さは同じになることに着目して見て欲しい。

【一世帯当り国民健康保険料と給付】

(各年度の物価水準を昭和50年の物価水準に換算して表示したものである。)



「これからは外国向けのパンフレットも必要、組合もこれからは対外的にさんさんPRに力を」と語る近藤理事長さん

国際的になった町の「鋸」

長野町鋸工業組合の近藤常作理事長さん



竣工した「藤宮集落開発センター」

街を自然を美しく  
吸いからの投げ捨てはやめましょう。

Smokin Clean

未成年者の喫煙が増えています。みんなで注意しましょう。

サラリーマンのみならず 事業主のみならず

年末調整

次の日程で「年末調整説明会」が開かれます。

- ◇ とき 11月25日(木) 午後1時30分から
- ◇ ところ 町総合福祉センター
- ◇ 対象者 町内業事所等の源泉徴収義務者

# 『秋晴れ』人出を誘う 産業まつり

今年で第四回を数えた町産業まつりは、異常気象による農作物の不作、出品間に続いた悪天候などから、農産物品評会への出品点数が昨年の七割と減少したものの町の産物を紹介する物産見本市、のこぎり刃物展示即売会、威勢のいい「呼び込み」の声で会場のふんい気を盛り上げた商店会の出店がこの穴を埋め、例年以上の盛況を見せました。

また、町婦人会が会場の一角で開いた「不用品交換会」も、町ではこの種の催しは初めてとあって、なかなかの人気を呼んでいます。

午後から行われた表彰式で表彰

された方々のうち、特別賞を受賞されたみなさんは、次のとおりです。(敬称略)

◇農産物品評会特別賞―産業まつり会長賞新保・青柳又衛(玄米) 中越農政事務所長賞新保・田口喜与七(玄米) 同協野町・江畑一男(白菜) 長岡林業事務所長賞上条・野島茂一(くり) 専売公社社長賞岡藤たけこ(生産事務所長賞七日市・斉藤光平(葉たばこ) 長岡たばこ耕作組合長賞七日市・安藤勲輔(葉たばこ) 家の光七日市・斉藤保(ばれいしょ) 同協野町・中川ヨエ(ねぎ) 日本農業新聞賞協野町・中川キミ(玉ねぎ) 同上岩井・佐藤澄子(にんじん)

◇うまい米作り運動―第一部(百袋以上) 中越農政事務所長賞、町



2日間とも「小春日和」に恵まれた産業まつりの会場、昨年を上回る人出でにぎわった。

青柳又衛さん二年連続会長賞

二日、三日町体育館で開催された町産業まつりは、両日も快晴に恵まれ、多くの人出でにぎわいました。

三日の午後からは、農産物品評会などの入賞者に対する表彰式も行われ、玄米を出品して二年連続「産業まつり会長賞」を受賞された新保の青柳又衛さんらに表彰状が贈られました。

## 中江地区の一部が市街化区域に

「用途地域指定」は住民の意向で

協野町の通称中江地区(協野町小学校の北、県道バイパス東側沿い)約一畝が、このたび新しく市街化区域に編入されました。

都市計画区域は、地元の見解などを参考に市街化区域に編入するもので、その目的は農業など都市的活動が調和をもつて発展するため、一定の秩序のもとに土地の利用方法などを決めることです。



新しく「市街化区域」に決まった中江地区。ここに住宅が建ち並ぶのもそうとおくはない。

事業計画書を県に提出 「保育所建設」明るい見通し

去る八月二十日、「北部保育所(仮称)をまず建設することが適当」との保育事業対策委員会の答申を受けていた「保育所の建設問題」は、その後町と議会側との数回の話合いと研究が進められ、五十三春開校に間に合わせるため十月二十三日、この答申に沿った町の「保育事業整備計画書」が県に提出されました。

今後は、この計画が予定どおり、県の補助対象事業として認められるかどうかにかかっているわけですが、この点については担当課の話では「これまでの経過、反応などからほぼ大丈夫」とのことです。新しい保育所建設問題は、入所近隣の幼児をお持ちの家庭では特に関心が強い問題かと思えますが、町では今後も引き続き関係者への働きかけ等を積極的に行って、計画の実現に全力を傾けたいとしています。

「意見をお聞きします」

「住居地域」指定で

町ではこの決定を受けて、この地域をどんな用途の地域、たとえば普通の住宅街とするのか、商店街とするのかなどを決める必要があります。

用途地域の決定は、将来の町発展に重要な要素をもっていますので、町都市計画審議会が審議のうえ県知事の承認という手続きになっていますが、何よりも地域住民の意見が一番尊重されるといえることは言うまでもありません。

現在のところ、編入面積が少ないこと、周辺地域と同じ用途の容積率「二百割」の方針ですが、この点について、意見をお持ちの方は担当の建設課にお申し出下さい。また、今回編入された個々の地番、図面などの関係書類をやはり建設課で縦覧に供しています。



火災の多い季節です、老人、子供は逃げやすいところへ寝かせましょう。

「火災は人災、防ぐはあなた」

秋の全国火災予防運動 11/26~12/2